



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第3号

令和 4年 6月22日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



## 勇気 挑戦 集中 チャンス 体調 5つのC!

関東甲信越地方が6月6日に梅雨入りとなりました。雨がちの天気予報が続き、当日の朝まで実施の有無に一喜一憂をしながらも、峡南地区中学校総合体育大会、いわゆる夏季総体が、予定された日程の6月9日、11日の2日間、峡南各地の会場で開催されました。

夏季総体に先立ち、大会に出場する野球部、女子バレーボール部、そして男子テニス部の部長が校長室を訪ね、大会2週間前からの早朝練習と放課後の活動延長の申し出がありました。その際、各部の部長に夏季総体に向けての意気込みを尋ねたところ、どの部も力強く県大会出場と胸を張って答えていました。峡南地区の中学校を生徒数で比較すると、六郷中学校は9校中の7番目の学校規模ですので、人数的には決して恵まれている学校ではありません。しかし、各部が意気込みとして掲げた県大会出場は、言葉をかえれば峡南地区の代表枠に入ることですので、種目ごとに代表枠としての準優勝やベスト4などと、具体的な目指すべき姿をイメージしての目標を掲げて取り組もうとしていることに、さすがだと感じました。

いよいよ大会前日。夏季総体に出場する野球部、女子バレーボール部、そして男子ソフトテニス部の健闘を全校生徒が互いに激励し合う選手壮行会が開催されました。今回の夏季総体においては本校の伝統ある野球部と女子バレーボール部が夏季総体への出場をもって休部となることが決まっていますので、生徒にとっても、六郷中学校にとっても、特別な節目となる大会に向けての壮行会となりました。そこで明日の夏季総体では、両部の有終の美を飾るべく、さらには男子ソフトテニス部や大会に出場しない生徒を含めた六郷中学校の「全校生徒の底力と熱い思い」を込めて、峡南地域に「六郷中あり!」と、六郷中を代表して健闘してきてほしいと願い、次のような言葉を全校生徒に伝えました。

『明日の試合に臨む選手の皆さん。そして応援の生徒の皆さん。さらには学校に残る生徒の皆さん。全校生徒が同じ思い、つまり今からお話する「5つのC」を心がければ、各部の目標の「県大会出場」がきっと叶うはず。「5つのC」を紹介します。』

勇気 Courage コーレッジ	挑戦 Challenge チャレンジ	集中 Concentrate コンセントレイト	チャンス Chance チャンス	体調 Condition コンディション
------------------------	--------------------------	-------------------------------	------------------------	----------------------------

『そうです。「勇気」「挑戦」「集中」「チャンス」「体調」の英語の頭文字はいずれも「C」で始まります。「5つのC」は「勝利」そして「目標達成」の心がけてほしいキーワードです。ぜひ、今日の最後の練習から「5つのC」を心がけてください。明日に向けて、目標達成に向けて、全校生徒で一致団結して頑張りましょう!』

夏季総体の結果は次のとおりです。男子ソフトテニス部は出場校7校中の堂々の「団体決勝リーグ戦3位の県大会出場」「個人2ペア県大会出場」と大健闘!。今回の大会で休部となる野球部はトーナメント戦のAパート決勝戦で、選手権大会県3位の身延中相手に最後まで善戦し、「パート2位の県大会出場」。同じく女子バレーボールは決勝トーナメント戦の準決勝において対南部中戦1セット目25:23、2セット目20:25、3セット目13:15のセット数2-1と、惜しくも県大会出場を逃しましたが、フルセットの最後まで粘り強く戦い、有終の美を飾る試合内容でした。

今回の夏季総体をとおして感じたことは、六郷中の生徒たちが、仲間を信じ、最後の最後まで、格上相手でもあきらめずに努力し続けた強い思いと、困難を乗り越えようとした姿勢をもって大会に挑んだことに感心させられたとともに、大きく成長したのではと実感した2日間でした。